

教科目名 校外実習 (Field practice of Civil Engineering)

学科名・学年 : 土木工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (学習保証時間 30 時間)

担当教官 : クラス担任

授業の概要 校外実習は校内において学習できない現場の業務を体験することにより教室で修得した知識と現場の業務との結びつきを知って、事後の学習を一層充実させるとともに、将来の自分の進路を決定する際のてがかりの一助とするものである。このためには校内の実習において実施されている班単位の行動よりも、学生一人一人が独立した行動をとることがより適切であると考えられるので、学生はそのつもりで判断、決定すること。		
到達目標 大分高専目標 (D2), JABEE 目標(d2c)(d2d)(h) (1) 社会性をみにつけること。 (2) 現場を体験することにより、これからの授業に対する意義を一層深めること。 (3) 将来の進路選択の一助となること。		
回	授 業 項 目	内 容
	1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 報告書の提出 5. 報告会	5月にクラス担任よりガイダンスがある。 クラス担任を通じて申し込みを行う。 実習期間は5日間以上とする。 実習後、各自報告書をまとめ、クラス担任に提出する。 成果を発表する。
履修上の注意		校外実習受け入れ企業等の紹介をするので希望する学生は申し込む。また、学生自身が実習先を探る場合は、土木の実習先としてふさわしいかどうか、土木工学科で検討するので、事前にクラス担任に申し出ること。実習は原則として夏期休業中に実施し、実習時間は30時間以上とする。
教科書		
参考図書		実習先の業務に関する教科書
関連科目		
評価方法		実習終了後、実習先から実習証明書を出してもらう。 学校に帰校後、実習報告書を提出する。 土木教官が集まった場所で、実習報告会を行い、全土木教官の認定により1単位が認められる。